

八王子消化器病院ニュース

第49号

医療法人財団 中山会

八王子消化器病院

消化器病専門医療機関・東京女子医大関連病院

日本医療機能評価機構認定病院

〒192-0903 東京都八王子市万町 177-3

TEL: 042-626-5111

www.八王子消化器病院.com

制作 (株) 教育広報社

おおり

HACHIOJI DIGESTIVE DISEASE HOSPITAL NEWS



年頭のご挨拶

八王子消化器病院 理事長 鈴木 衛

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり病院職員を代表してご挨拶申し上げます。

昨年1年を振り返ってみますと政治・経済、そして社会生活の多岐に亘り多難な年で、特に平和と安全保障に関する難問が世界中で頻発した年でありました。世界においては、国際テロ組織ISの脅威、強国の力による侵略、北朝鮮の核問題等々、枚挙に暇がありません。また、国内に目をやると戦後70余年守ってきた平和憲法の改正が国会決議された年でありました。

そのような暗雲漂う年の終わりに大村智名誉教授がノーベル生理学・医学賞を受賞されるという一筋の光明が射しました。同氏がアフリカを中心に蔓延する寄生虫に対するワクチンを開発したことにより2億人以上の人々が失明の危機から救われたのです。平時の安全保障とも云われる医療の人類平和に対する貢献度の大きさを改めて感じ得ません。私達の最も大切な問題のひとつである医療ですが、転じて身近な最大の課題としてがん対策が挙げられます。

がんは30年以上に亘って日本人の死因の第1位で、高齢化とともにその数は増加の一途を辿っております。人口動態統計(厚生労働省)によりますと平成26年にがんで亡

くなった方は約36万8千人に上り、死亡総数の約3割を占めており、正に「国民病」と云えます。

このような状況の中、「全国がん登録」の制度が本年1月から始まりました。この制度は、がんの予防策や治療技術の向上を目的に国内でがんを診断された全ての方のデータを国が一括して収集・管理・分析する「がん登録推進法」という法律に基づくものです。これにより全ての医療機関は、がんを診断された方の情報を届け出ることが義務付けられています。

届け出される情報は、①罹患者の氏名、性別、生年月日、住所 ②診断日 ③がんの種類、進行度、発見の経緯 ④治療内容 ⑤死亡日などです。これらの情報は、都道府県の「がん登録室」を通じて国立がん研究センターのデータベースに登録され、整理・分析されます。これにより、毎年何人の方が新たにがんを診断されたか(罹患者数)や、がんになってからある一定期間経過した方が何人生存しているか(生存率)、そして、これらのデータから導き出される治療効果などが全国規模で分かるようになります。

従来も各都道府県により「地域がん登録」が行われてきましたが、他県の医療機関に受診や入院された方の情報が収集できない

などの理由により、全国一貫した正確な情報として活用できませんでした。また、情報の整理に3年以上もの時間を要し、がん罹患状況は推計としてしか把握できませんでした。今回の「全国がん登録」では、すべてのがん情報を一括管理することで、精度の高い、正確な情報をタイムリーに公表できることが期待されており、分析結果は、国のがん対策や都道府県の地域医療計画にも活用されます。

当院におきましては、医療情報管理の専門職者である診療情報管理士を中心に医師、看護師および事務員がチームとなって全国がん登録の制度開始に向けた体制整備を進めて参りました。

今回の「全国がん登録」の結果を待つまでもなく、がんの治療成績向上に対しては早期発見・治療に勝るものではありません。当院は、消化器疾患の専門病院として食道から胃、小腸、大腸、肝臓、胆道、膵臓まで全ての診断・治療を行っており、内視鏡検査を中心とした諸検査による早期がんの診断に積極的に取り組んでおります。また、手術後の5年間は定期的な検査を受けていただき、転移や再発病巣のないことを確認するなど消化器疾患の診断から治療、そして術後の経過観察までを一貫して行っております。

以上のように、当院では、「全国がん登録」への協力を通して広い意味でのがん治療の質向上に寄与するとともに目の前の患者様に安全、安心、確実な診断と治療を提供していくため、本年も全職員が一丸となって尽力して参ります。

近年、我が国では大腸がんが増加の一途を辿っており、がんで亡くなられた方の中でも男女を問わず大きな割合を占め、最近の統計（厚生労働省 2014 年「人口動態統計」）によりますと、男性では第 3 位、女性では第 1 位となっておりま。一方、大腸がんに対する治療は、内視鏡等の機器の進歩や多くの知見の集積によって、安全性や治療効果が飛躍的に向上し、早期に発見し適切な治療を受けることで、その多くは治る病気となってきました。

大腸がんとは、大腸に発生した悪性腫瘍で、周囲の臓器に浸潤したり転移を起したりするものをいい、良性腫瘍とは区別されます。その発生には、正常粘膜から直接癌が発生するケースと良性腫瘍であるポリープ（腺腫）が癌に進展するケースがありますが、大腸がんの多くは腺腫から発生すると考えられています。

このことから検診等の諸検査による早期発見・診断が重要であることがご理解いただけると思います。

以下に大腸がんの検査方法についてご説明いたします。最も普及しているのは便潜血検査で、これは便が大腸がんの表

面をこすって血液が付着することを利用して、便中の血液（潜血）の有無を調べます。この検査は簡便であり、かつ苦痛を伴うこともないことから各自治療が広く採用されています。陽性であると大腸がんの可能性があるということになり、注腸造影検査や大腸内視鏡検査による精査が必要になります。

注腸造影検査は、肛門からバリウム等の検査用薬剤（造影剤）を空気とともに流し込んで大腸の壁に付着させ X 線撮影することで、その形の変化から病変を診断する検査法です。この方法により、がんの大きさや周囲の臓器との位置関係が把握できます。

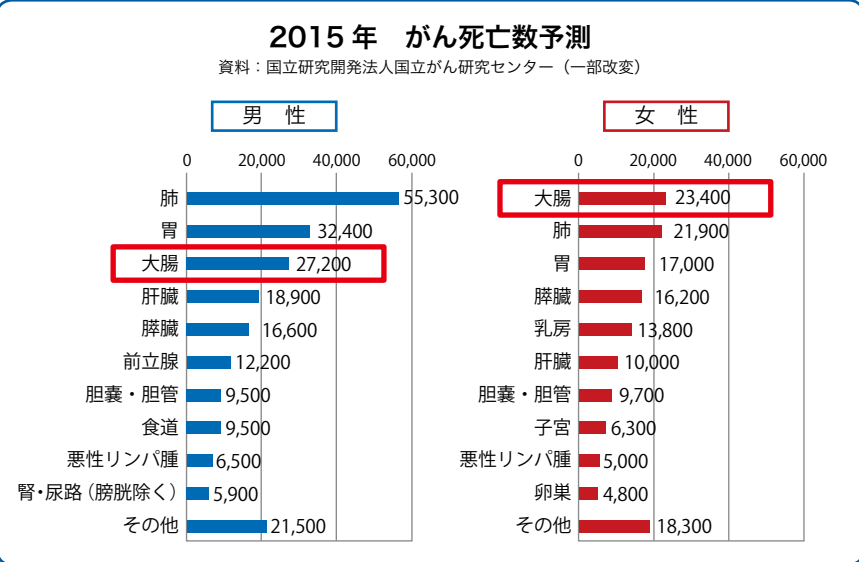
大腸内視鏡検査は、肛門から内視鏡を挿入し、大腸を内側から観察する検査法です。この方法では病変を直接観察することができ、また、がんの疑いがある部位から細胞を採取し顕微鏡を用いた詳細な診断を行うことができます。また、観察のみに止まらず検査中に発見したポリープや早期がんをその場で切除することもできます。なお、内視鏡を用いた主な治療法には、内視鏡的大腸ポリープ切除術（ポリペクトミー）、内視鏡的粘膜

切除術（EMR）、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）があり、病変の形状と大きさに応じて使い分けています。

以上の検査の他にも CT や超音波検査、MRI、血液検査（腫瘍マーカー）等の複数の検査を組み合わせて総合的に診断を行います。

次に大腸がんの予防法についてご説明いたします。米国においては、内視鏡的大腸ポリープ切除を推進したことにより大腸がんの発症が 50% 減少したとの報告もあります。大腸がん発症予防の観点から最も大切なことは、生活習慣の改善です。

冒頭にも述べましたが、我が国では大腸がんが増加傾向にあり、その一因として食事の欧米化とそれに伴う肥満や便秘等が以前から指摘されております。食事については糖質、炭水化物の過剰摂取は食後高血糖を招きインスリン産生量を増やし、糖尿病の発症原因となるばかりでなく、大腸がんの発症リスクが 1.36 倍以上に上昇するともいわれています。また、アルコールは少量では影響が小さいですが、1 日 46g 以上（ビール大瓶 2 本：約 400ml）、ワイングラス 2 杯：約 266ml）で 2 倍、1 日 92g 以上で 3 倍以上に発症リスクが高まるとのデータがあります。他にも喫煙や運動不足との関連性が指摘されております。これらに対しては、適




もっと知りたい!

身体
治療

のこト

大腸がんの 早期発見・予防について

八王子消化器病院 顧問
武雄 康悦



度な運動や食物繊維を適切に摂取する等のバランスの良い食事、規則正しい生活を送ることが対策として挙げられます。

以上のように大腸がんの予防と早期発見には、生活習慣の改善と定期的に検査を受けることが大切です。

当院では、消化器疾患の専門病院として進行大腸がんに対する外科的治療はもとより、診断精度の高い検査法を駆使し、確実な診断を得て内視鏡による早期がんの治療にも対応しています。

私と大腸がん

八王子市川口町 在住

磯 洋一さん



49

◆申年のこと

平成28年。今年の干支は申年(丙申(ひのえさる))です。申年は「申(さる)」が「去る」を意味し、「悪いことが去る」や「病が去る」など「良いことや幸せがやってくる年」とする一説が有ったり、また、日本の各地では、「申年に赤い下着を贈ると病が治る」「申年に贈られた下着を身に着けると元気になる」などの昔からの言い伝えがあり、現在でも流布されています。私たち患者にとって大いに期待ができる年なのではないでしょうか。

◆名医のこと

実は、私も申年で6回目の年男を迎えました。前回の申年(甲申(きのえさる))還暦になった年に大腸がんが見つ

かり、当時院長で在られた現鈴木理事長に執刀していただきました。幸いなことに、がんの部位は上行結腸で、10cmほどの腸と大分大きくなっていた盲腸を一緒に切除していただきました。切除する部位が広がったのかどうかわかりませんが、今話題の腹腔鏡による手術法から開腹手術に途中から変更して無事に終わったと言うことを家族から聞かされました。大腸はつなぎ合せていただいたのですが、腹部の皮下脂肪が厚かったので10cm位開腹した外側の皮膚は縫わずに自然にくっつくのを待つようにとのことでした。部位が部位だけに私自身には見えないのですが、家族は看護師の消毒のたびに肉が見え

ることから恐怖を感じていたようです。そんなことから退院後はどのように消毒をしたらよろしいのでしょうかと尋ねると、理事長いわく「日本の水道水は良くできていて、その部分を毎日シャワーしていればそのうち治りますよ」。驚きましたね。消毒液が水道水とは。しかし、これなら家族の手を煩わすこともないの自分で毎日シャワーを浴び、術後2か月後には浴槽に入ることが出来ました。大好きなお酒も同じ時期からお許しが、そして趣味のゴルフは4か月後から出来るようになり、その年の内に生涯のベストスコア71ストロークが出ました。そんなわけで、その後もお酒やゴルフをおおいに楽しみ、生活面で手術の影響は何一つなく今年12年目を迎えました。私にとって「名医」ここにあり、感謝感激です。

◆がんの告知のこと

当時、がんの告知については、現在のように当たり前に患者本人に告知する時代ではなく、微妙な時期でした。しかし、理事長から自然に飛行

機がソフトランディングするように、そんなに難しい手術ではありませんからと、何となく大腸がんを教えられ手術に向かう本人は大いに安心したのを覚えています。入院前日に同級生でゴルフ仲間の悪友らと居酒屋でお酒を酌み交わした折に、「磯、無事に帰って来いよ」とか「60歳は、まだ早いぞ」など励ましやら慰め果ては悪態をつかれましたが、本人は実は無知さもあり盲腸の手術ぐらいにしか思っていないかったものですから、いたって冷静で楽しくお酒を飲み交わしたものです。

◆がんへの取組みのこと

ところでこの「がん」です。日本人の死亡原因の1位で、国民の2人に1人が罹り、3人に1人が命を落としているといわれております。

八王子市の取り組みについて伺うと、市ではこうした状況を受け、3年間にわたる検討の結果を踏まえて平成25年3月に5箇年計画「八王子市がん予防推進計画」を策定、その基本理念は「がんにならない、がんによる早すぎる死

を防ぐ、笑顔あふれる健康なまちづくり」とし、施策として「がん予防の推進」、「がん検診の充実」の2本柱を掲げ、市民のがんによる死亡率低下に取り組んでいるとのこと。

がん予防については様々な形での啓発運動や教育活動の充実に努め、また、がん検診は市の受診率向上策と合わせ医師会や医療機関との連携に努めているとのこと。その結果、がん検診の受診率は6年半で約2倍に伸びております。余談ですが厚生労働省の「がん検診のあり方に関する検討会」のメンバーとして大学教授など8名の中に全国「がん」地方自治体の中で唯一、八王子市の職員が含まれていることから、これらの取り組みの成果が如実に現われていると私は思います。

八王子消化器病院はこの地域連携に積極的に参加していることは言うまでもありません。

私は、毎年こちらで精密検査をしていたらいますが、是非皆さんも「がんにならない生活習慣づくり」に取り組みむことをお勧めします。

施設課のご紹介

施設課 倉田 博行

病院は、患者様にとって治療の場であること
はもとより、生活の場でもあります。当課で
は、患者様にとって安全かつ快適な療養環境
を提供するため施設・設備管理を中心に廃棄
物管理、防災対策および院内行事の運営サポ
ートと幅広く活動しております。
以下、各業務の内容についてご紹介させてい
ただきます。

●施設・設備管理

快適な療養環境にとって不可欠な電気、空
調、換気、給排水等を始めとして患者様が安
全かつ安心に治療を受けていただくために必
要な防犯、防災、医療ガス等の施設・設備に
関する管理を行っております。これらが正常
に作動するためには、毎日の巡回点検が重要
となります。点検に際しましては、諸設備に
加えて人目につきにくいパイプスペース等の
目視点検を行います。この際に機器・設備
の異常や漏水を発見することもあり、早期に
対処することで故障や漏水被害を最小限に留
めることに一役買っております。これは例え
てみれば皆様が病気の早期発見・治療のため
に定期検診をお受けになることに相通じるも
のと思えます。

●廃棄物管理

病院の運営に際しては、設備管理、営繕、清

掃、植栽等で数多くの委託業者の協力を得て
おりますが、その一つに廃棄物管理がありま
す。廃棄物管理は、廃棄物と資源ごみの分別
や排出量管理、減量の推進、行政届出等につ
いて委託業者との協力関係のうえに成り立っ
ております。また、廃棄物排出者（病院）に
は最終処分までの責任があることから、廃棄
物の処理施設・処分場を視察することも重要
な業務となります。

これらの活動の一環として患者様に「廃棄
物」と「資源ごみ」の分別にご協力いただ
くとともに栄養科・看護部を中心に食品リサイ
クル（食品残渣飼料化処理）を推進した結果、
廃棄物の大幅な減量化（▲73%）が実現しま
した。この取り組みは、行政の発行した『八
王子市事業系ごみの手引き（第1〜4版）』に
「業種別取り組み事例」として紹介されました。
患者様には、この場を借りて感謝申し上げま
すとともに引き続きのご協力をお願いいたし
ます。

●防災対策

「災害は忘れた頃にやってくる」と言われて
いますが、当課では年2回の法定防災訓練（通
報、初期消火、避難・誘導等）や受変電設備法
定点検時の自家発電機の試運転（全館停電時
に最長72時間稼働可能な設備です）はもとよ
り、防災対策委員会と合同で無線機を用いた
通信訓練や炊き出し訓練等を実施しておりま
す。また、消防用設備の日常点検や災害時備
蓄品（患者様・職員を含めて3日分の水、食料、
医薬品等を常備しております）の保管・管理
や非常用ポータブル発電機の試運転等を行い、
万が一の事態にも対応できるよう病院を挙げ

て取り組んでおります。その他にも台風や降
雪時に患者様が安全にご来院いただけるよう
看板やポール等の事前撤去や歩道・駐車スぺ
ースを確保するための除雪作業等も行ってい
ます。

●院内行事の運営サポート

患者様に少しでも季節感を味わっていただ
こうと、7月にはロビーや患者様食堂に七夕
飾り、12月にはクリスマスツリーや屋外をイ
ルミネーションで飾り付けています。これら
は患者様に喜んでいただけるよう病院を挙げ
て準備に当たります。また、患者様・ご家族
様、近隣の方々から好評を得ておりますロビー
コンサートやクリスマスマスカラロールでの会場設
営や音響も担当しております。

以上が施設課の主たる業務になりますが、
今後は施設・設備の老朽化に伴う自家発電機
等の大規模改修やエアコン・照明等の省エネ
機器への
更新を通
して、患
者様によ
り一層の
安全かつ
快適な療
養環境を
提供する
ために取
り組んで
参ります。



想うこと

年の始めの例として 終わりなき世のめでたさを
松竹たてて門ごとに 祝う今日こそ楽しけれ

今では一般家庭で門松を見ることは、とんと無く
なり古き良き風習は、すたれるばかりです。翻って、
初詣でをする人は年年歳歳増えているようで、各地
の神社仏閣は、多くの参拝客で賑わっています。

一年の門出にあたって希望に満ちた、そして平
穩無事な年であって欲しいと願う心は、何時の世
も変わらないということでしょうか。この年末年始
は、天候にこそ恵まれたものの、政治・経済そし
て社会生活において波乱の幕明けとなってしま
いました。今年一年の安寧を願って止みません。

理事 久野久夫

